

2-3 Perth Culturalエリア

パース駅の北側に位置し、州立の図書館や博物館から成るパースカルチュラルセンター、大学などの教育機関を含む文化的なエリアです。エリア内には歴史的建築物が多く保全されている一方で現代的なマンションも建ち並び、古くからの街並みと現代的な街並みが共存しています。

景観特性



1. 公共施設が生む大きな空間



4つの公共施設があり、これらの公開空地から大きな空間が成り立っています。高低差やコンテナカフェなどが外部からの視線を遮り、独自の空間が形成されています。イベントも開催され、パースの文化の中心地としての役割を果たしています。

2. 保全された歴史的な街並み



このエリアでは歴史的建築物が多く保全されています。近年建てられた建築物もファザードの高さと色が歴史的建築物に似たデザインで揃えられており、パースの歴史的な街並みとその統一感が保全されています。

3. 視線の抜けにくい住宅街



ニューキャッスルストリートには街路樹が多く、且つ道幅も狭いため、他の道路よりも緑が強調され、視線が抜けにくくなっています。また、このストリートにも歴史的建築物はありますが、エリア内の他のストリートと比べると少なく、代わりに2～4階建ての現代的なマンションが多いのが特徴です。

景観形成の特徴

1. 公共施設が生む大きな空間

- パースカルチュラルセンターには広い公共空間があり、コンテナカフェやベンチ、植栽があることで、通路から見えるにぎわいが生まれ、豊かな景観となっている。
- 車が進入できない歩行者専用の空間となっている。これにより車道が省かれるため、より広々とした空間が広がり、余裕のある景観が生まれている。



コンテナカフェ

具体的な保全策

- パースカルチュラルセンター内の歴史的な設えでない建築物も、歴史的な設え(色、素材)に揃える。
- 駅側からの歩行者のアクセスをスムーズにするため、横断歩道を増やし、歩行環境を改善する。



ベンチが憩いの空間を生む

2. 保全された歴史的な街並み

- エリア内の半分以上の建物が古くから残る歴史的建築物で、歴史的な意匠を持つ低層2～3階建ての建物が街並みを形成しており、他のエリアよりも歴史的な雰囲気強く表れている。
- パースカルチュラルセンター内の博物館、シアター、美術館は歴史的な設えの建物であり、それらはセンター内だけでなく外の街並みにも影響を及ぼしている。



歴史的な設えの建築物

具体的な保全策

- エリア内の建物を建て替える際には、歴史的な街並みに配慮したファザード、高さであるかどうかを審査する。
- 街路樹の高さを低くして歴史的建築物を際立たせる。



博物館

3. 視線の抜けにくい住宅街

- ニューキャッスルストリートには高さや葉の付き方の異なる様々な種類の街路樹が並んでおり、且つ道幅が狭いため、緑が強調され、視線が抜けにくくなっている。
- マンションが多く、1階部分が店舗、2階以上が住居となっている場合が多い。他のエリアと比べると人通りはまばらであり、賑わいが少ないエリアであると言える。



様々な種類の街路樹

具体的な保全策

- 各住居のベランダにも植木を設け、ストリートを緑で包む。
- 住宅街の静けさのために、テラス席を設けない。



1階部分が店舗、2階以上が住居の建物